

# 学校法人鴨江寺学園

## 令和5年度鴨江幼稚園事業報告書

### 1 法人の概要

#### ○ 建学の精神

本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。

本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！ 知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。

宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。

我々は、より良い未来を創るために、PTAの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。

#### ○ 設立の経過

昭和25年3月14日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可  
昭和58年6月30日 学校法人化への設置者変更申請  
昭和58年7月28日 学校法人鴨江寺学園認可  
平成29年3月31日 きなりこどもえん設置認可  
現在に至る

#### ○ 設置する学校

鴨江幼稚園

#### ○ 園則定員

3才児	140人	5クラス
4才児	140人	4クラス
5才児	140人	4クラス
<hr/>		
420人		

○ 園児数の状況 (R5.5.1 現在)

3才児	79人	5クラス
4才児	88人	4クラス
5才児	89人	4クラス
		256人

○ 役員・教職員の概要

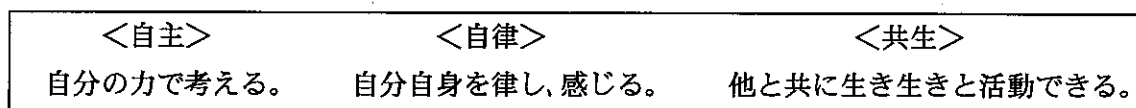
理事	6人
評議員	13人
監事	2人
教職員	32人

2 事業の概要 (鴨江幼稚園)

○ 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的・計画



人間の土台を育む年間カリキュラムを実践する。

<教育要領実施項目>

I 健康

1. 行動と充実感

・体育ローテーション・オブネット英語

2. 運動

・体育ローテーション・マラソン・ヤマスポーツ・運動会

3. 健康・安全

・薄着・裸足の励行・防災避難訓練 (保健安全計画別途記)・交通安全教室

- II 人間関係
1. 自分の力で行動する充実感
    - ・ S I あそび・制作活動・園外保育・ゲーム遊び
  2. 人とのかかわり
    - ・ お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・誕生会・ヒッポ
  3. 社会性
    - ・ 朝礼・基礎活動・給食当番・一泊保育

- III 環境
1. 自然とのふれあい
    - ・ 園外保育・遠足・芋の栽培、収穫・花壇・朝顔
  2. 身近な環境に自分からかかわる
    - ・ 園内遊び・花まつり・青葉祭・七夕・クリスマス・節分・涅槃会
    - ・ じゃが芋蒸し・餅つき
  3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
    - ・ タイルあそび・モンテ・絵日記・かるた

- IV 言葉
1. 自分の気持ちを言葉で表現する
    - ・ 当番活動・生活発表会・劇遊び
  2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
    - ・ 言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
  3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる
    - ・ 絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

- V 表現
1. 美しさに対する豊かな感性
    - ・ 絵画・BGM・MS・読詩
  2. 自分なりに表現する
    - ・ 劇遊び・リトミック・絵画制作・MS・発表会
  3. イメージを豊かにし表現を楽しむ
    - ・ ライゲン・エポック・リトミック・作文・発表会

○ 令和5年度は、次の点の育成に重点をおいて事業に取り組んだ。

1. 園児
  - ・ 児に知識を与える。——→ 考える子どもに育てる。
  - ・ 園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にする。
  - ・ 全園児の年間第1目標達成率は99%であった。

2. 職員
- ・自ら考えて行動する教師になる。
  - ・自分自身に誇りを持つ。
  - ・語彙を増やす。
  - ・学年主任、学年会を中心とする。

○ 事業実施の概要は以下の通りである。

実施月	事業内容
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 入園式 11日 (午前10時、2階ホール) ・ 始業式 12日</li> <li>・ 心電図検査 20日(年中児) ・ 春の遠足</li> <li>・ 参観会年長 20.21、年中 24.25、年少 27.28</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内科検診 15日、22日</li> <li>・ 身体発育測定(隔月実施)</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参観会 1・8・16日</li> <li>・ 青葉祭 15日 ・ 歯科検診 22日</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 七夕会 7日</li> <li>・ 年長観音山 25.26日 ・ 父親参観会 1日(長)</li> <li>・ 終業式 21日</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地藏盆踊り 23日 (午後5:30~鴨江寺・園児)</li> <li>・ 始業式 25日</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災訓練 1日(園内・園児)</li> <li>・ 父親参観会 2日(中)、16日(少、光)</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動会 7日(午前9:00~・西小学校・)</li> <li>・ 参観会年長 24・25日・芋ほり 10/30</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 参観会年長 6・7日 年中 13・14日 ・ 参観会年少・光 20・21</li> <li>・ 芋蒸かし 1日 ・ もちつき 29日</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼児生活発表会 7日</li> <li>・ 個人面談 11~15日</li> <li>・ クリスマス会 22日</li> <li>・ 終業式 22日</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通教室年長 18日</li> <li>・ 鴨江っ子まつり 25日</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 卒園遠足 9日</li> <li>・ 節分 2日</li> <li>・ 涅槃会 15日</li> <li>・ 参観会 5.6・19.20・26.27日</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひなまつり 1日</li> <li>・ 卒園式 15日 (2階ホール)</li> <li>・ 修了式 16日 (2階ホール)</li> </ul>

○ 子どもの安全・健康対策

- ・園児の健康管理 — R5/5・6月 内科・歯科検診実施
- ・部外者への侵入対策 — R5/6月・R6/1月 防犯訓練実施
- ・園内での事故防止対策 — 週1回 遊具総点検
- ・交通事故防止対策 — R6年1月 交通安全教室実施
- ・施設設備の点検 — 電気・エレベーター隔月点検委託実施、  
月初め施設設備自主点検実施
- ・地震対策 — R5/5・9・10・12・R6/3月 地震避難訓練実施
- ・火災予防対策 — R5/4・7・8・11・R6/2月 火災避難訓練実施
- ・新型コロナウイルス・インフルエンザに対する予防・感染防止対策に努める。
- ・給食等、食中毒の予防に努める。

○ 子育て支援活動

- ・預かり保育 月～金の登園日 15:00～18:00、夏、冬、春休み 8:00～18:00 実施し、1日平均 30 名が利用した。
- ・チャイルドクラブ、ひよこクラブ — 2歳児の親子に園を開放、子育て相談に応じる
- ・チャイルドクラブ各学期 80 名ほどの幼児が参加しました。
- ・ひよこクラブには各学期 30 名ほどの幼児が参加しました。
- ・地域の未就園児を、行事に招待し園児との交流を図っている。各行事平均 150 名ほどの参加者があった。
- ・在園児の保護者の子育て、教育相談にはその都度応じた。(年間 30 名)
- ・言語に問題がある子どもの保護者と話し合い理解を得て、言葉の教室への通級をすすめ、就学前までにかかなりの成果がみられた。

3 財務の概要

○ 経年比較 別紙参照

○ 当該年度の計算書類の財務分析

- ・ 新入園児申込み目標数（最低卒園児数の確保）は達成することができました。
- ・ 教育効果を損なわない経費支出の見直すこと。
- ・ 新入園児獲得に向けて、より 在園児と保護者が喜んでもらえるよう日々の保育に携わる教職員の意識の高揚・資質の向上に努めなければならない。

以上

令和6年4月3日

学校法人鴨江寺学園

鴨江幼稚園

理事長・園長 建部 仁洋



年間目標	ねらい	反省
<p>年間目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○喜んで登園し、友だちや保育者に親しみを持つ。</li> <li>○園生活の流れを知り、園の生活リズムに慣れる。</li> <li>○遊具や玩具に興味を持ち、好きな遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○喜んで登園し、友だちや保育者に親しみを持つ。</li> <li>○園生活の流れを知り、園の生活リズムに慣れる。</li> <li>○遊具や玩具に興味を持ち、好きな遊びを十分に楽しむ。</li> </ul>	<p>反省</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初は保護者と離れることが不安で泣く子もいたが、連休明けには保育者や友だちとの遊びを楽しむようになった。</li> <li>・園生活に慣れると、好きな遊びを見つけて子ども同士で遊びを進めていけるようになった。</li> <li>・子ども自ら進んで行動する姿が見られるようになった。</li> </ul>
<p>健康</p>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分でできる事は自分で行い、自信を持って過ごす。</li> <li>○全身を使って自然や様々なものと関わったり、友だちと一緒に遊ぶことを楽しむ。</li> </ul>	<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身の回りの事は、自分でできる子が多かった。また、できない事も繰り返す事で少しずつ上達し、できる事が自信となっていった。</li> <li>・ルールのある遊びや、体を動かす遊びを好むようになった。寒さを感じる日でも戸外で体を動かして遊ぶ姿が見られた。</li> </ul>
<p>人間関係</p>	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○友だちとの遊びの中で、園生活のルールを身につける。</li> <li>○友だちや保育者など、身近な人への関心を深め共に過ごす楽しさを味わう。</li> </ul>	<p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おもちゃの貸し借りや順番に並ぶ等の中でケンカになることもあったが、保育者が介入し、解決の方法を伝え続けた。学年末には子ども同士で解決できる事が増えた。</li> <li>・芋掘りや鴨江っこまつり等で年長児との関わりが増え、年上の子の優しさに触れられた。</li> <li>・保育者の介人がなくても、子ども達で遊びを展開していきけるようになった。</li> </ul>
<p>環境</p>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○裸足で戸外に出て、自然に触れたり、十分に体を動かして遊びを楽しむ。</li> <li>○身近にあるものに興味を示し、遊びに取り入れようとする。</li> </ul>	<p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度に続き、裸足保育ができなかった。園庭の整備が待たれる。</li> <li>・花壇の花の観察や葉っぱや木の実を使ったのままごなどを楽しむことができた。もう少し散歩に出られると良かった。</li> <li>・身近な廃材を使用して粘土遊びをした。遊びに取り入れられそうと感じたものを積極的に使って遊ぶ姿が見られた。</li> </ul>
<p>言葉</p>	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の気持ちや困っている事等を、保育者に自分なりの言葉や方法で伝えようとする。</li> <li>○相手の話を聞き理解し、自分の思いも伝えることができ。</li> </ul>	<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な挨拶や返事はよくできていた。</li> <li>・困ったことがある時、泣いたり表情で訴える事が多かったが、言葉での伝え方を保育者と考えていくことで、徐々に言葉で伝えられるようになった。また、保育者側も受け入れの雰囲気を作っていく事が大事だと感じた。</li> <li>・言葉が増えた半面、一方的に話す姿がある。相手の話も聞ける様になる事が望まれる。</li> <li>・手遊びや歌う事は十分楽しむ事ができた。</li> <li>・楽しかった事や経験した事等は、まずは保育者に伝えられるようになった。成長すると、友だち同士で自分の気持ちを伝え合うこともあった。</li> <li>・粘土遊びで思い描いた形を作ったり、経験したことを描いたりする事を楽しめた。</li> </ul>
<p>表現</p>	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な体験の中で、感動したことを伝え合う喜びを感じる。</li> <li>○感じたことや考えたこと、経験したことなどを音や動きなどで表現したり、描いたり、扱ったり、形を作ったりすることを楽しむ。</li> </ul>	<p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手遊びや歌う事は十分楽しむ事ができた。</li> <li>・楽しかった事や経験した事等は、まずは保育者に伝えられるようになった。成長すると、友だち同士で自分の気持ちを伝え合うこともあった。</li> <li>・粘土遊びで思い描いた形を作ったり、経験したことを描いたりする事を楽しめた。</li> </ul>
<p>指導内容の視点</p>	<p>指導内容の視点</p>	<p>指導内容の視点</p>
<p>保護者支援</p>	<p>保護者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者が安心して園児を送り出せるよう、お便りカードやクラスだよりにて園の様子を伝え、信頼関係を築いていく。</li> <li>○行事等への取り組みの様子やねらいをわかりやすく伝え、子どもの成長との関係性を理解してもらおう。また、家庭からのサポートもお願います。</li> </ul>	<p>保護者支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初からお便りカードやクラス便りで子どもの様子を知らせる事を心がけた。保護者と上手くコミュニケーションを取れた保育者と取れなかった保育者の差ができてしまった。</li> <li>・お便りカードやクラス便りを発行する枚数が少ない職員に対しては、教務が指導をしたが、大きく改善する事はなかった。</li> <li>・保護者からの質問や疑問にはすぐに答えるようにした。また、家庭での様子を聞いたり、園での様子を伝える事で情報共有ができた。細やかな連絡が保護者との信頼関係を築き、家庭からの協力を得ることに必要だと改めて感じた。</li> </ul>

年間目標	ねらい	反省	省
健康	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい環境に慣れ、安心して過ごす。</li> <li>○健康的な生活習慣が身に付いていく。</li> <li>○戸外で体を動かす、ルールのある遊び・季節感のある遊びを楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいクラスに慣れるのは、年少の時より早かった。安定した友だちができると、幼稚園に楽しく通う姿が見られるようになった。</li> <li>・うがい、手洗いの習慣は身につけていたが、感染症が流行して学級閉鎖になる頻度が多かった。その為、行事の練習が思うようにできない事もあった。</li> <li>・3学期には体育で行ったドッジボールを楽しんだ。年長でも取り組んでいきたい。</li> <li>・運動会に向けてのパラバルーンの練習はクラスで一丸となり、行うことができた。</li> <li>・跳び箱、縄跳び、鉄棒等苦手な子は自由遊びと一緒に練習する事を意識して行った。その結果、目標を達成し、自信に繋がる子が多かった。保育者が意識して細やかな指導を心がけることが大切と、改めて感じた。</li> <li>・集団遊びに十分取り組み、クラスだけでなく学年で楽しむことができた1年であった。</li> </ul>	
人間関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな遊びを見つけ、保育者や友だちと体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>○友だちのよさに気付いたり、相手を受け入れたりしながら、友だちと一緒に活動する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとの関わりが年少時よりも増えた。すると、ケンカ等のトラブルも増えた。これも成長と捉え、意見の伝え方や相手の気持ちを聞く事を指導していった。3学期には相手の意見を受け入れたり、自分の考えを伝える事が上手になり、トラブルがあっても自分達で解決できる事が増えた。</li> </ul>	
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いろいろな素材や自然物で製作をする。</li> <li>○行事を心待ちにし、喜んで参加する。</li> <li>○草木や風の様子等に気付き、自然の変化を感じ取ったり、冬の自然現象に興味・関心を持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トマトの栽培・ヒヤシンスの水栽培を通して、植物を身近に感じる事ができた。</li> <li>・行事を心待ちにし、練習に取り組める子が多かったが、一部の子どもは行事前になるとプレッシャーを感じ、日々の保育に参加できない事もあった。</li> </ul>	
言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>○紙芝居や絵本などを見たり聞いたりして、言葉の面白さや興味を持つとともに、友だちや保育者と言葉を交わしながら、想像してイメージを広げ、表現して楽しむ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った事など、中々伝えに來られない子もいたが、保育者が聞く雰囲気を作る事を意識していくと、徐々に話に來られるようになった。</li> <li>・発表会の劇を子ども達と作っていく事でイメージを広げられるようになった。</li> <li>・個人持ちの絵本を一人でも読めるようになった。文字を読む力がついた。</li> </ul>	
表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>○身近にあるいろいろな素材や用具に親しみ、描いたり作ったりすることを楽しむ。</li> <li>○言葉を中心とした共通のイメージを持って遊び、工夫しながら遊びを展開する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人絵具やクレヨン等様々な画材を使ったり、色々な技法で絵画活動を楽しんだ。</li> <li>・運動会の絵等、経験した事を絵に描いた。動きのある人物を描くことができた。</li> <li>・ごっこ遊びや劇遊びでは、自分が経験した事をもとにアイデアを出し、進めていく事ができた。</li> </ul>	
保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣や態度、遊び方、友だち関係などの日常生活について発信し、成長への期待の支えとなるよう関わり、保護者と共に考える。</li> <li>○子ども同士の間でのトラブルは、発達の自然な姿であることを知らせ、理解や協力を求めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おたよりカードやクラス便りで子どもたちの姿を細めに伝えることはどのクラスも意識できた。成長した事や良かったことは伝えやすかったが、苦手なことやお願ひごととは上手く伝えられず、保護者に不安を与えてしまいうこともあった。</li> <li>・若い保育者は親子の触れ合いを深めるような発信をしようとしていく。</li> <li>・発信していくか、主任や主事が相談に乗るようになっていく。</li> <li>・保護者と直接会って話す機会が少なくなっていました。</li> </ul>	



		ね ら い	反 省
年間目標	○新しい環境に慣れ、主体的に遊びに関わると同時に、友だちのつながりを楽しむ。 ○年長児としての自覚を持ち、意欲的に園生活を送る。		・年長になった喜びを感じている子、新しい環境に緊張する子と様々な様子で始まった新年度であった。慣れるまでに時間を要する子もいたが、1学期中にはクラスの仲が深まった。 ・大きな行事のある2学期には忙しいながらも年長としての意識が強まり、前向きに練習に取り組みると同時に、園生活も意欲的になった。3学期には年長児としての自覚が高まり、年下の子に譲ったり、優しく接する姿が多く見られた。 ・1学期は体を動かして遊ぶことが好きな子とそうでない子の差があった。運動会のリレーで、クラスが一体となって練習に取り組んだことから2学期以降、ドッジボール等の集団遊びに取り組む姿が見られた。 ・3学期には学年でドッジボール大会を行った。勝つ喜び、負ける悔しさを味わい、クラスで勝つための作戦を考えたり練習をしたりして十分楽しむことができた。
健康	○自分の体に関心を持ち、健康な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。 ○十分に体を動かし、全身を動かして遊ぶ満足感を味わう。		・自分の意見や気持ちを伝える事は出来たが、相手の気持ちを汲み取る事が難しかったり、相手の気持ちが分かってもうまくまとめられない事が1学期は多かった。 ・鴨江っこまつりの異年齢での保育の中でリーダーとなり活動を進める事が増え、話し合いが上手になった。一人ずつ意見を聞いてまとめたり、役割分担をしたり、子ども達だけで考え話し合い解決が出来るようになり成長を感じた。
人間関係	○遊びの中で、意見や感情の行き違いの中で、相手の気持ちや考えを分かろうとする。 ○仲間と協働しながら、遊びを持続し発展させ、共通の目的を持ち創意工夫しながら満足いくまでやり遂げようとする。		・ダンゴムシを探して飼育をした事で、家庭でもダンゴムシの好む食べ物や場所を調べる様子があつた。 ・朝顔や稲を育てたり、じゃがいも掘りをする事で自然に触れたり、植物を観察する機会を持つ事が出来た。 ・絵本を読みかさかせることは好きだった。年長で貸し出し絵本が始まり、自分で本を選ぶことを毎週楽しみにしていた。 ・自分の意見を友だちに伝えていく事は、まずはグループなどの小さい集団で、そこからクラス全員の前で発表する機会を設けていった。自分の意見を主張する事は出来るようになったが、意見がぶつかり、トラブルになる事もあつた。
環境	○活動や経験を通して、見通しを立てる力が育ち、進んで環境に関わろうとする。 ○身近に起こる自然現象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり、調べたりする。		・1学期は自分のイメージしたことを言葉や行動で表す事を恥かしがら子もいた。2学期に発表会の踊りを行って行くことで、友だちとイメージを共有し、表現する事を楽しめるようになった。 ・子ども達が主となりイメージした遊びを展開していったが、子ども達が迷っている事などがあつた時に適切なアドバイスが出来なかつた事が反省点である。
言葉	○生活の中の言葉や文字・記号に関心を持ち、自分達の表現したいことを伝える手段として取り入れて使う。 ○友だちの主張にも耳を傾け、共感したり意見を言う中で、自分の主張を譲ったり協働していく。		・クラスだけでなくクラスの方針を示していく事は出来たが、クラスごとでその内容の差があり、保護者が不満に思う事もあつた。若い保育者の経験が足りない部分を埋められるように主事や主任がサポートすべきであつた。 ・行事の前などは特に子ども達の様子を伝える機会を多くし、家庭との連携を図るようにした。保護者は行事での子ども達の姿に成長を感じてくれる。共に喜び合う事が出来た。 ・就学について保護者は少なからず不安を感じているようだった。クラス通信等で就学について発信する事は難しかった。答えられることは個別に答えたが、保育者が小学校の事を知る機会が設けられたらと感じた。
表現	○共有するイメージを持って、遊びの中で役割を持ち協働しながら遊びを展開し、試行錯誤しながら満足いくまで遊ぶ。		
保護者支援	○クラスの運営方針を伝え、一緒に子育てを楽しめるように言葉かけをする。 ○子どもが試行錯誤しながら成長していく様子を伝え、温かく見守りながら励ますことの大切さを理解してもらおう。 ○就学に向けての保護者の対し、小学校の様子や情報を知らせ、安心してもらおう。		

# 学校法人 鴨江寺学園

## 令和5年度 きなりこどもえん事業報告書

### 1 法人の概要

#### ○ 建学の精神

本園は、釈尊の説かれた「法を灯明とし、自らを灯火とせよ」の、幡を掲げています。

本園は、先哲の流れを現代に生かし、体は野性的に！ 心豊かに！ 知能は文化人に！と、3拍子揃った教育を基本としています。

宇宙的広がりの中で、子どもたちが自己実現できる人間に成長し、感謝と努力を胸に、世界で創造・調和・貢献できる人間となるための土台作りに励んでいます。

我々は、より良い未来を創るために、PTAの三者が共に喜びあえる集団であることを念じています。

#### ○ 設立の経過

昭和 25 年 3 月 14 日 宗教法人鴨江寺 鴨江幼稚園設置認可

昭和 58 年 6 月 30 日 学校法人化への設置者変更申請

昭和 58 年 7 月 28 日 学校法人鴨江寺学園認可

平成 29 年 3 月 31 日 学校法人鴨江寺学園幼保連携型認定

きなりこどもえん 設置認可

現在に至る

#### ○ 設置する学校

きなりこどもえん

#### ○ 園則定員

0才児 9人 1クラス

1才児 15人 1クラス

2才児 24人 1クラス

3才児 24人 1クラス

4才児 24人 1クラス

5才児 24人 1クラス

---

120人

#### ○ 園児数

0才児 6人 1クラス

1才児 18人 1クラス

2才児 24人 1クラス

3才児 24人 1クラス

4才児 24人 1クラス

5才児 24人 1クラス

---

120人

○ 役員・教職員の概要

理事 6人

評議員 13人

監事 2人

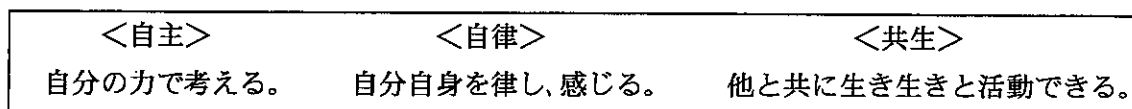
教職員 29人

2 事業の概要

○ 当該年度の事業の概要

別紙 年間予定表

○ 当該年度の主な事業の目的



人間の土台を育む年間カリキュラムを実践

○ 園と園児と家庭で共通の、園児の個人目標をたて、達成するために家庭と園が連絡を密にした。

○ 子どもの安全対策

- ・園児の健康管理 — R5年4月5月・6月・11月 内科・歯科検診実施
- ・部外者への侵入対策 — R6年1月 防犯訓練実施
- ・園内での事故防止対策 — 月1回 遊具総点検
- ・交通事故防止対策 — R5年6月 ・R6年2月 交通安全教室実施
- ・施設設備の点検 — 電気・エレベーター隔月点検委託実施  
月初め施設設備自主点検実施
- ・地震対策 — R5年5・9・10・12 R6.3月 地震避難訓練実施
- ・火災予防対策 — R5年4・7・8・11 R6.2月 火災避難訓練実施

## <教育要領実施項目>

### I 健康

1. 行動と充実感
  - ・体育ローテーション・オブネット英語
2. 運動
  - ・マラソン・コスモスポーツ・運動会
3. 健康・安全
  - ・薄着の励行・防災避難訓練・交通安全教室・コロナ対策

### II 人間関係

1. 自分の力で行動する充実感
  - ・制作活動・園外保育・ゲーム遊び
2. 人とのかかわり
  - ・お店屋さんごっこ・遠足・盆踊り・ヒッポ
3. 社会性
  - ・朝礼・基礎活動・給食当番

### III 環境

1. 自然とのふれあい
  - ・園外保育・遠足・花壇・朝顔、野菜の栽培
2. 身近な環境に自分からかかわる
  - ・園内遊び・七夕・餅つき・クリスマス・節分・クッキング
3. 身近な事象の中で数、文字の感覚を豊かにする
  - ・モンテ・かるた

### IV 言葉

1. 自分の気持ちを言葉で表現する
  - ・当番活動・生活発表会・劇遊び
2. 言葉で伝え合う喜びを味わう
  - ・言語発表の時間・ごっこあそび・ヒッポ
3. 日常会話を習得し、まわりの人と心を通わせる

・絵本、紙芝居の読み聞かせ・ごっこ遊び

V 表 現

1. 美しさに対する豊かな感性  
・絵画・BGM・読詩
2. 自分なりに表現する  
・劇遊び・リトミック・絵画制作・発表会
3. イメージを豊かにし表現を楽しむ  
・エポック・リトミック・発表会

以 上

令和6年4月3日

学校法人鴨江寺学園  
きなりこどもえん  
園長 建部 真貴子

## 令和5年度 きなりこどもえん 一年の反省

園長 建部 真貴子

### <空組>

- ・初めての園生活において子どもだけでなく保護者も安心できるよう対応を工夫した。その中で、成長を知らせたりアドバイスしたりすることも行なった。体調の変化には充分留意し、健康観察は職員全員でこまめに行った。自我の芽生えや愛着など個の成長に応じて、その都度対応することができた。

### <空1組>

- ・1.2学期は、担当保育者との信頼関係を築けるよう関わりを深めた。3学期には、担当にこだわらず、色々な保育者と安心して関わられるようになった。食事や生活リズムが気になる子へは、保護者にノートや口頭でわかりやすく伝えていった。個の成長に差があるので常に職員で話し合い対応することができた。

### <光組>

- ・ごっこ遊びを保育者と一緒に遊び込むことで、言葉の獲得や友だちとの関わり方を知ることができるよう心掛けた。自我の芽生えやイヤイヤ期は個々に違う為、職員で話し合い対応していくことができた。日々の様子を保護者に伝達する際、保護者の受け取りと職員の伝え方に相違があり、伝達の難しさを感じた。

### <星組>

- ・発達に差があるクラスであるため、一斉保育や個への対応の難しさを感じた。一斉保育ではなく、一人一人の思いに寄り添えるような保育に心がけたが、個への対応を必要とする子が多く限られた保育者の中で対応するには限界も感じた。その中でも、友だちやクラスを意識できるような保育や、保育者の言葉、音量など以前までの保育のあり方を見直し、多様性の中での保育について日々工夫した。

### <虹組>

- ・登園渋りや友だちとのトラブルが多い一年であった。心情の変化がある年頃なので、より丁寧な対応や配慮を必要とした。そのことにより、保護者の心配や不安も大きくなってしまったので、安心して預けてもらえるような対応を見直していきたい。歌やごっこ遊びなどを好み、遊びを通してクラスの一員であることを意識できたり、友だちとの関わりを深めたりすることができた。

### <月組>

- ・行事の経験を通し、共同性がより意識できるようになった。隙間時間で、リズム遊びや足し算などの数字遊びを取り入れることでより関心が高まった。子ども達同士のトラブルでは自分達で解決できるか見守りつつ自分の意見を言ったり相手の思いを聞く姿勢を大切にしたりした。その結果、翌日に気持ちを持ち越すことなく、友だちとの関わりを深めることができた。絵日記の活動に関しては、個人差が大きかったので、絵本に触れる回数や文章作りなど絵日記の活動に繋がることを取り入れるとよかった。

### <全体>

1月1日に発生しました能登半島地震では人的被害及び家屋等への甚大な被害が確認されたことにより、きなりこどもえんでも、被災地の復旧・復興、被災された方々への支援、何よりも不安感や恐怖心を抱いている子ども達の心が、1日でも早く平穏な日常に戻ることを願い、災害支援募金活動を行いました。多くの保護者や職員より心温まるご支援をたくさん頂戴することができ、被災地の保育団体に送付することができました。園でも南海トラフ地震に備えて、防災用品の充足に努めたい。

設備面では以上用のダイニング机椅子が充足され、給食を食べる時間にゆとりもでき、それにより活動の幅も広がっている。インターホンやスプリンクラーの不具合があり、何度か修繕を重ねているが次年度は交換を要する。

令和5(2023)年度 学校法人鴨江寺学園鴨江幼稚園の教育活動に関する自己評価並びに学校関係者評価委員の意見

令和6年3月29日

学)鴨江寺学園理事長 建部仁洋  
学校関係者評価委員議長 吉澤俊道

○ 自己評価及び学校関係者評価

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会		
		園としての反省・分析・改善点	評価	委員会の意見	評価	
保育の計画性	①園の教育理念の理解	園の教育理念や教育方針に共感し、その内容を十分理解している。	指導計画・並びに教育環境には十分配慮しており、充実した保育を提供している。また教育理念に対しては理解が深まっている。	A	園の教育方針に沿って先生方は一所懸命に教育をしている。ただし現状に満足せずに改革改善は必要である。	A
	②指導計画の作成	幼稚園教育要領、教育方針、課程、園児の実態等を配慮して作成している。				
	③環境構成	指導計画を基に、意欲的かつ主体的に活動できる環境を構成している。				
	④計画の評価・反省	自分の保育と計画を評価・反省し、話し合い、次の保育に役立てている。				
保育の在り方	①健康と安全への配慮	朝幼児の健康管理には十分に配慮し、安全性や清潔さにも配慮している。	コロナが一段落した中で、健康には十分注意を払っている。しかし情報共有がスムーズにできていないところがある。	A	学年での情報共有はできているが、他学年やバンピクラストの情報共有に力を入れなければならない。	A
	②個の理解	幼児を理解し、あるがままを受け止めるとともに、指導目標を明確にしている。				
	③幼児との関わり	傾聴・共感・受容・認証・奨励のかかわりを大切にしている。				
	④教師同士の連携	教師全員が幼児について理解し、互いに連携しあうことを大切にしている。				
教師としての資質・能力・良識・公正	①良識とマナー	教師らしい品位のある言葉を心掛けている。	教師としての品位が少し低下している面が見受けられる。ただ保育を楽しんでいる先生が多い。	A	髪の毛の色や挨拶の面で、緩くなっているところが見受けられる。先生としての自覚をしっかり再確認してほしい。	B
	②職務上の守秘義務	職務上知り得た情報などの秘密を守る。重要書類等を持ち出さない。				
	③保育の楽しみ・喜び	生活を創り出すことを楽しく思い、幼児の成長を理解し喜ぶことができる。				
	④状況を感じる感性	幼児教育の情報を捉え、自然や社会の出来事にも関心を持つ。				
保護者への対応	①情報の発信	クラスようす、自分の保育観、ポイントなどを知らせている。	クラス便りや参観会などで保護者との関りは多く持つようになっているが、仕事に追われておざなりな面も見受けられる。	A	昨年度に引き続きSNS等での情報発信をしており、若い保護者にとっては好評である。ただし、ほしい情報が欲しい保護者に届いていないなど、課題は多い。	A
	②個への対応	個々の幼児について必要に応じて情報を発信したり受信したりしている。				
	③保護者や幼児への対応	保護者や幼児と公平に接し、教師としての節度をもって適切に対応している。				
	④相談などへの対処	相談等に話を聞き、主任や園長に報告・連絡・相談し、適切に対処している。				
地域との関わり	①子育て支援への関心	園が地域の子育て支援センターの役割を有していることを理解している。	コロナが収束したが、外部との関りがあまり増えなかった。	B	コロナ後ということで以前のように外部とのコミュニケーションを取ろうと努力している。	A
	②小学校との連携	スムーズに小学校へ進学できるよう、小学校の教育内容を理解している。				
	③人々への関わり	地域の人々と親しく挨拶を交わしている。				
	④地域への関わり	地域の自然や施設の場所、交通機関、主な行事等について把握している。				
研修と研究	①研修・研究意欲	研修や研究の必要性を認識し、自己課題をもって参加している。	コロナ前とは言わないが、研修等も増加しており、自己研鑽をする先生も見受けられる。	B	研修の増加により、先生の意識の向上、学びへ意欲が見受けられて、今後に期待できる。	A
	②教師としての研究	幼児のみと内面を理解し、指導と関わりについて研修・研究を行っている。				
	③遊具・教材	園の遊具や教材について、特徴や扱い方、利用方法を研究している。				
	④自らを高める	保育関係の他に、趣味、読書、芸術等、教養を深める努力をしている。				
総合評価	保護者アンケート	コロナ前とほぼ同じように参観会・行事等をおこなっており、多くの保護者には満足してもらえた。	総合的考察	コロナ終息後の幼稚園生活であるので、手探りでの幼稚園運営であった。そのような中でコロナマインドからの脱却が難しいところもあり、消極的な運営も見受けられたが、コロナ前に戻そうと努力が見受けられている。		

令和5年度 きなりこどもえん自己評価

きなりこどもえん 園長 建部真貴子  
 学校関係者評価委員議長 吉澤 俊道

評価分類	評価内容	自己評価		学校関係者評価委員会	
		園としての反省と改善案	評価	学校関係者評価委員会の意見	評価
社会人としてのマナー	教職員として意識し、職員同士がチームであることを意識し、行動できているか。	職員のほぼ全員が社会人教職員としてのマナーと自覚を持って行動している。今後も教職員同士の連携と協調性を保育に活かしていきたい。	A	職員一人ひとりの表情が明るく保護者の評判がよく、全体の印象がよい。	A
保護者への対応	個人情報を適正に取り扱いし、保護者に対して区別や差別をすることなく対応できているか。	教職員は個人情報の取り扱いに遵守している。保護者への意見は謙虚に受け止め話を聞くようにしている。挨拶や声掛け、些細な疑問にも丁寧に対応し信頼関係を保つようにしている。	A	個人情報の取り扱いを適正にしている。どの保護者に対しても公平に対応をしている。	A
地域社会	地域の行事など興味関心を持って参加することができるか。	地域の小学校との交流は毎年少しですが持つようにしている。公民館まつりの作品の展示や消防署との消火訓練などを通じて連携をしている。	B	地域との交流も積極的にしている。地域の住民のご意見も真摯に受けて止めていて誠実に対応しているのが感じられる。	B
研修・研鑽	研修等、向上心を持って参加することができるか。	研修の種類も豊富にご案内があるが、保育教諭は職員の配置基準が定まっているため、1回につきひとりの研修しか参加できないので、研修に参加した人の報告で全員に周知を行なっている。	B	園外研修だけでなく、園内研修を多く実施されているようである。問題点を職員同士で挙げ、園全体の意識を更に高めていけるとよい。	A
専門職	園の教育方針、理念を理解し、子ども達に合った保育に努めることができているか。	事故防止に努めながら、乳幼児の発達や特性を理解し、日常生活や遊びの中で幼児教育や保育の質の向上につなげている。	B	幼児教育や保育内容がより充実したものとなるようより努めてもらいたい。	A
総合		昨今の不適切保育等のニュースを踏まえて、日々保育のあり方話し合い、安全で優しい保育を行えるよう多方面から対策を考えている。	B	保育園、こども園の事故のニュースが相次ぐ中、きなりこどもえんの先生方は研修に参加したり、事故防止に努め安全な保育をしていると感じる。	B



# 資金収支計算書

令和 5年 4月 1日から  
令和 6年 3月 31日まで

## 収入の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	135,260,000	136,133,738	△ 873,738
手数料収入	30,000	30,000	0
寄付金収入	700,000	812,600	△ 112,600
補助金収入	192,201,000	227,495,980	△ 35,294,980
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	40,750,000	42,424,335	△ 1,674,335
受取利息・配当金収入	42,000	43,506	△ 1,506
雑収入	8,430,000	9,239,111	△ 809,111
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	850,000	940,000	△ 90,000
その他の収入	16,510,317	18,027,040	△ 1,516,723
資金収入調整勘定	△ 1,880,000	△ 28,447,426	26,567,426
前年度繰越支払資金	724,819,144	724,819,144	
収入の部合計	1,117,712,461	1,131,518,028	△ 13,805,567

## 支出の部

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	258,090,000	250,947,735	7,142,265
経費支出	89,230,000	78,624,282	10,605,718
借入金等利息支出	3,000,000	2,912,420	87,580
借入金等返済支出	10,008,000	10,008,000	0
施設関係支出	50,500,000	50,303,138	196,862
設備関係支出	4,500,000	1,899,440	2,600,560
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	11,877,972	11,490,345	387,627
(予備費)	(150,000) 1,850,000		1,850,000
資金支出調整勘定	△ 1,300,000	△ 9,281,296	7,981,296
翌年度繰越支払金	689,956,489	734,613,964	△ 44,657,475
支出の部合計	1,117,712,461	1,131,518,028	△ 13,805,567

# 資金収支内訳表

令和 5年 4月 1日から

令和 6年 3月 31日まで

## 収入の部

(単位：円)

科 目	学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額
学生生徒等納付金収入	0	98,145,234	37,988,504	136,133,738
手数料収入	0	0	30,000	30,000
寄付金収入	0	812,600	0	812,600
補助金収入	0	60,291,600	167,204,380	227,495,980
資産売却収入	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	0	40,699,950	1,724,385	42,424,335
受取利息・配当金収入	0	42,443	1,063	43,506
雑収入	0	6,515,473	2,723,638	9,239,111
借入金等収入	0	0	0	0
計	0	206,507,300	209,671,970	416,179,270

## 支出の部

(単位：円)

科 目	学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額
人件費支出	0	129,631,929	121,315,806	250,947,735
経費支出	102,860	51,788,048	26,733,374	78,624,282
借入金等利息支出	0	0	2,912,420	2,912,420
借入金等返済支出	0	0	10,008,000	10,008,000
施設関係支出	0	0	50,303,138	50,303,138
設備関係支出	0	907,500	991,940	1,899,440
計	102,860	182,327,477	212,264,678	394,695,015

# 事業活動収支計算書

令和 5年 4月 1日から

令和 6年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		予 算	決 算	差 異	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	135,260,000	136,133,738	△ 873,738
		手数料	30,000	30,000	0
		寄付金	700,000	812,600	△ 112,600
		経常費等補助金	192,201,000	226,813,980	△ 34,612,980
		付随事業収入	40,750,000	42,424,335	△ 1,674,335
		雑収入	8,430,000	9,239,111	△ 809,111
		教育活動収入計	377,371,000	415,453,764	△ 38,082,764
	事業活動支出の部	人件費	258,090,000	250,947,735	7,142,265
		経費	129,230,000	114,598,028	14,631,972
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	387,320,000	365,545,763	21,774,237
		教育活動収支差額	△ 9,949,000	49,908,001	△ 59,857,001
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	42,000	43,506
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	42,000	43,506	△ 1,506
事業活動支出の部		借入金等利息	3,000,000	2,912,420	87,580
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	3,000,000	2,912,420	87,580
	教育活動外収支差額	△ 2,958,000	△ 2,868,914	△ 89,086	
経常収支差額		△ 12,907,000	47,039,087	△ 59,946,087	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	682,000	△ 682,000
		特別収入計	0	682,000	△ 682,000
	事業活動支出の部	資産処分差額	200,000	2	199,998
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出計	200,000	2	199,998
	特別収支差額	△ 200,000	681,998	△ 881,998	
(予備費)		(150,000)		1,850,000	
基本金組入前当年度収支差額		△ 14,957,000	47,721,085	△ 62,678,085	
基本金組入額合計		△ 64,308,000	△ 61,093,078	△ 3,214,922	
当年度収支差額		△ 79,265,000	△ 13,371,993	△ 65,893,007	
前年度繰越収支差額		282,535,878	282,535,878	0	
基本金取崩額		0	499,000	△ 499,000	
翌年度繰越収支差額		203,270,878	269,662,885	△ 66,392,007	
(参考)					
事業活動収入計		377,413,000	416,179,270	△ 38,766,270	
事業活動支出計		392,370,000	368,458,185	23,911,815	

# 事業活動収支内訳表

令和 5年 4月 1日から

令和 6年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目		学校法人	鴨江幼稚園	きなりこどもえん	総 額	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	0	98,145,234	37,988,504	136,133,738
	手数料	0	0	30,000	30,000	
	寄付金	0	812,600	0	812,600	
	経常費等補助金	0	59,609,600	167,204,380	226,813,980	
	付随事業収入	0	40,699,950	1,724,385	42,424,335	
	雑収入	0	6,515,473	2,723,638	9,239,111	
	教育活動収入計	0	205,782,857	209,670,907	415,453,764	
	事業活動支出の部	人件費	0	129,631,929	121,315,806	250,947,735
	経費	102,860	64,740,931	49,754,237	114,598,028	
	徴収不能額等	0	0	0	0	
教育活動支出計	102,860	194,372,860	171,070,043	365,545,763		
教育活動収支差額	△ 102,860	11,409,997	38,600,864	49,908,001		
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	0	42,443	1,063	43,506
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
	教育活動外収入計	0	42,443	1,063	43,506	
	事業活動支出の部	借入金等利息	0	0	2,912,420	2,912,420
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
	教育活動外支出計	0	0	2,912,420	2,912,420	
教育活動外収支差額	0	42,443	△ 2,911,357	△ 2,868,914		
経常収支差額		△ 102,860	11,452,440	35,689,507	47,039,087	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0	0
	その他の特別収入	0	682,000	0	682,000	
	特別収入計	0	682,000	0	682,000	
	事業活動支出の部	資産処分差額	0	1	1	2
	その他の特別支出	0	0	0	0	
	特別支出計	0	1	1	2	
特別収支差額	0	681,999	△ 1	681,998		
基本金組入前当年度収支差額		△ 102,860	12,134,439	35,689,506	47,721,085	
基本金組入額合計		0	0	△ 61,093,078	△ 61,093,078	
当年度収支差額		△ 102,860	12,134,439	△ 25,403,572	△ 13,371,993	

(参考)

事業活動収入計	0	206,507,300	209,671,970	416,179,270
事業活動支出計	102,860	194,372,861	173,982,464	368,458,185

# 貸借対照表

令和6年3月31日

(単位：円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	747,960,915	731,732,085	16,228,830
有形固定資産	738,191,390	721,867,875	16,323,515
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	9,769,525	9,864,210	△ 94,685
流動資産	761,996,309	742,352,031	19,644,278
資産の部合計	1,509,957,224	1,474,084,116	35,873,108
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	227,442,000	237,450,000	△ 10,008,000
流動負債	25,657,796	27,497,773	△ 1,839,977
負債の部合計	253,099,796	264,947,773	△ 11,847,977
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	987,194,543	926,600,465	60,594,078
第1号基本金	987,194,543	926,600,465	60,594,078
繰越収支差額	269,662,885	282,535,878	△ 12,872,993
純資産の部合計	1,256,857,428	1,209,136,343	47,721,085
負債及び純資産の部合計	1,509,957,224	1,474,084,116	35,873,108

## 財産目録

令和6年3月31日


科目	年度末
基本財産計	742,946,291
運用財産計	767,010,933
財産の部合計	1,509,957,224
固定負債計	227,442,000
流動負債計	25,657,796
負債の部合計	253,099,796


# 令和 5 年度監査報告書

令和 6 年 5 月 17 日

学校法人 鴨江寺学園  
理事会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事 象近快泉 

監事 鈴木昭彦 

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は無いのと認めました。

以 上


# 令和 5 年度監査報告書


令和 6 年 5 月 17 日

学校法人 鴨江寺学園

評議員会 御中

学校法人 鴨江寺学園

監事 冢 近 快 泉 

監事 鈴木 昭 彦 

私たちは、学校法人鴨江寺学園の監事として、私立学校法第 37 条第 3 項に基づいて同学園の令和 5 年度（令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで）における財産目録及び計算書類（資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表及び付属明細表）を含め、学校法人の業務並びに財産の状況について監査を行いました。

私たちは監査にあたり、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事から業務の報告を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施しました。

監査の結果、私たちは、学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、財産目録および計算書類は会計帳簿の記載と合致し、法人の収支および財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務又は財産に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は無いものと認めました。

以 上